

お客様 紹介

兵庫県川西市在住 八木勉様・智子様

～子供に遺す、自分達も楽しむ。そのバランスが大事、そして難しい・・・～

一 弊社石野との出会いは22年前

当時私は45歳で会社勤めでした。老後の資金作りにとって保険に入り、石野さんと出会いました。しかしそれ以上の保険の加入はなかったので、お目にかかることはなかったのですが・・・

一 最終的に誰に相談すべきかを決めかねて

自分なりにライフプランシミュレーションを作り、自分の判断で投資信託や株の運用、安全資産である保険商品など資産全体のバランスを考えてきました。でもずっと「いつまで自分1人で管理できるのか」という問題意識を持っていました。株式や投資信託については銀行等に相談していましたが、最大の問題は数年単位で担当者が変わることでした。

一 そんな時に弊社にご連絡いただきました

私が資産管理をするうえで大切にしているのは「長期間を見据えて判断する」です。

大切な資産管理をどこに任せるか。それを短期間の付き合いでは決められません。キーストンさんからはニュースレターがずっと届いていたので、これからの私の人生を信頼して相談できるか否かをずっと見てきました。そして信頼できると確信したので、久しぶりにご相談させていただきました。

一 八木様にとって相続とは？

私の父は、皆が集まった席で「家族は大切なもの」「私や家族を支えてくれた妻は宝物」といつも話していました。この言葉を父の遺産として肝に命じ、妻と5人の孫を含めた娘たち家族を大切にしてきました。これは子供や孫たちに伝えたいし、私達夫婦が楽しんでいる姿も見てもらいたい。考え方や姿勢を伝えることも「相続」だと思っています。

一 相続を考えるうえでの問題点は？

(勉様)今はリタイアし、60歳から英会話を学んでいます。実践のために短期のホームステイをしたり、妻と一緒に海外旅行に出かけたりしています。夫婦で

楽しむことを大事にしたいので、どれだけ自分たちのために使い、子供たちにどれだけ遺すのか。このバランスが難しいですね。

(智子様)家のことですね。自然に恵まれ、孫たちが走り回れるこの家がとても気に入っています。ただ、地元の病院が赤字経営で縮小されています。今は車で多少遠い病院でも通えますが、いつまで運転できるか…。この家が大好きですけど、家が狭くなっても移動が便利な町なかに住むほうがいいのかなと考えたりもします。

一 キーストーンに望むこと

これからも家族全員を含めて、長いお付き合いをお願いします。



旅心とぬくもりに溢れた
玄関ホールにて。
右から智子様、勉様、石野



リビングにはたくさんの写真が。
八木様ファミリーの歴史は
笑顔に溢れています

